

様式第 14 号(第 6 条関係)

令和 3 年 10 月 8 日

宮城県議会議長 石川 光次郎 殿

提出者

自由民主党・県民会議 会長 高橋 伸二



令和元年度（令和元年 11 月分～令和 2 年 3 月分）政務活動費に係る
収支報告の修正について（提出）

宮城県議会における政務活動費の交付に関する条例第 13 条第 9 項の規定により、
令和 2 年 10 月 12 日付けで提出した令和元年度政務活動費収支報告書等について、
下記のとおり修正します。

記

1 修正理由 事務費に係る計上額の誤りが判明したため

2 修正の対象

（提出者が会派の場合のみ該当する番号に○印を付け、該当議員名を記載すること）

(1) 会派共通経費

(2) 所属議員 [該当議員名：畠山和純議員]

3 修正内容（該当する番号に○印を付けること）

(1) 政務活動費収支報告書

(2) 政務活動実績報告書（月別支出報告書、政務活動記録簿を修正する場合も含む。）

(3) 証拠書類の写し（領収書及び領収書等添付票、支払証明書）

(4) その他（具体的な書類名：）

4 残余额（該当する番号に○印を付け、(1)の場合は金額を記載すること。）

(1) 修正の結果生じた新たな残余额は 260 円であり、返還する。

(2) 新たに返還すべき残余额は、生じていない。



【注】

1 修正に当たっては、政務活動費収支報告修正報告書(様式第 15 号)を提出するとともに、上記 3 (2)～(4)のうち修正するものを添付すること。

2 修正する書類は、次のとおり見え消しによる修正を行ったものの写しを添付すること。

(裏面)

- (1) 頁の一部分の修正の場合は、二重線により見え消し修正し、該当議員（会派共通経費の場合は、会派の政務活動費経理責任者）の訂正印を押印すること。
- (2) 頁全体の修正（削除）の場合は、頁全体に斜線を引くなど、全体の抹消が明らかになるよう見え消しを行い、該当議員（会派共通経費の場合は、会派の政務活動費経理責任者）の訂正印を押印すること。
- (3) 余白に修正年月日を記載すること。
- (4) 2回以上の修正を行う場合は、修正箇所と修正時期がわかるように、それぞれの修正箇所及び修正年月日の前に(A)、(B)等の記号を付すこと。

様式第15号(第6条関係)

令和3年 10月 8日

令和元年度政務活動費収支報告修正報告書

(令和元年11月分～令和2年3月分)

自由民主党・県民会議

1 収 入

政務活動費 46,200,000 円

2 支 出

(単位 円)

項 目	支 出 額		備 考 (主な修正内容)
	修正前	修正後	
調査研究費	11,514,068	11,514,068	
研 修 費	433,399	433,399	
広聴広報費	3,864,090	3,864,090	
要請陳情等活動費	167,216	167,216	
会 議 費	72,116	72,116	
資料作成費	351,000	351,000	
資料購入費	1,811,461	1,811,461	
事務所費	4,092,273	4,092,273	
事 務 費	4,364,426	4,364,166	通信費の計上額修正
人 件 費	9,116,620	9,116,620	
合 計	35,786,669	35,786,409	
残 余	10,413,331	10,413,591	

3 新たな残余額

260 円

- 注 1 支出額欄には、修正箇所のみならず、使途項目ごとの金額を全て記載すること。
 2 新たな残余額欄には、「修正後の残余－修正前の残余」による額を記載すること。